



恋は恋しい

R18

FOR ADULT ONLY



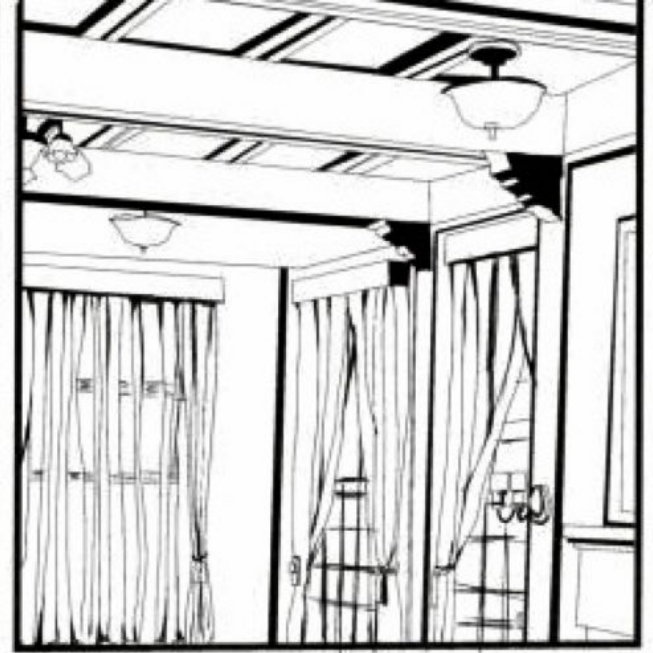
あの日僕の世界は半分になった

「また一緒に遊ぼうなー！翼ー！」

だけど
僕の世界にはたったひとつの光があつて
それを頼りに僕はずっと歩いてきた
だから道に迷うことはなかったんだ

※終家の家族構成の捏造があります
終家に翼の義理の兄にあたる人物がいて
その義理の兄に性行為を強要されるという場面があります
ご注意ください



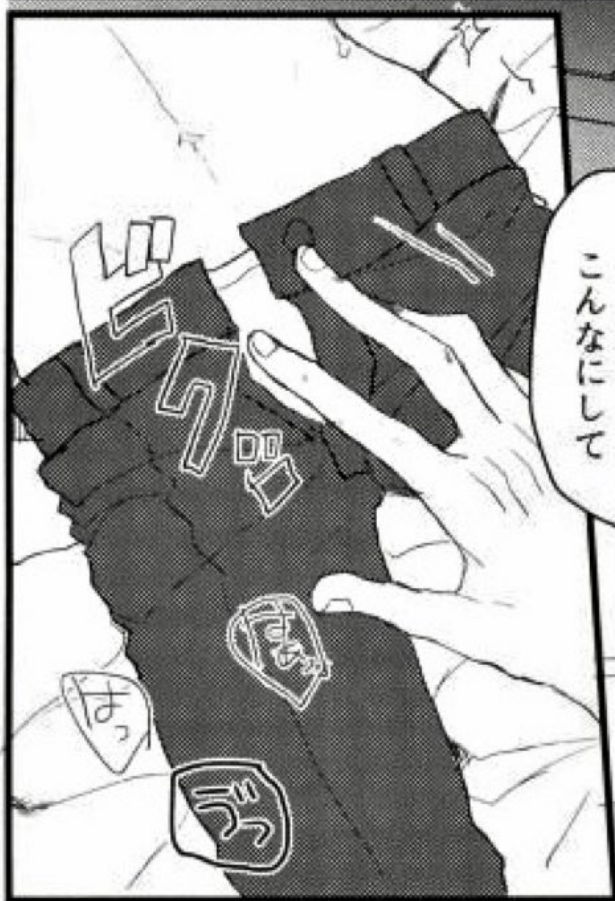


柊家に来てからの
毎日は地獄だった



もう……
こんなことは……

お義兄さん……



ほら……
もうここを
こんなにして



何をそんな
わざとらしく

嫌がるふりして
本当は翼のほうに
望んでいるくせに



うっ!
いくっ!

出さぞ!翼!
翼のなかにっ!

もじいやだ
もじいやだ
み

たすけて



…しい

しい

たすけて

柊家に引き取られてから
毎晩のように
義理の兄に犯されていた

しい

頭の中で何度も何度も
樹兄さんの名前を唱えていた

しい

樹兄さんに心の中で助けを求めた
与えられた譜面を上手く弾けずお爺様に手を叩かれた時
ダンスのレッスンが厳しかったとき上手く歌えずに叱られたとき
辛いとき悲しいときは樹兄さんの名前を何度も呼んだ
そうすればいつか樹兄さんは僕のことを助けにきてくれる
頭の片隅でそんな希望を捨てきれずにいたからだ



樹です

だから耐えられた

樹です

我慢していれば
いつかまた樹兄さんと
一緒に過ごせる日がきつとくる

樹にい

いつか
我慢していれば

樹兄さんと

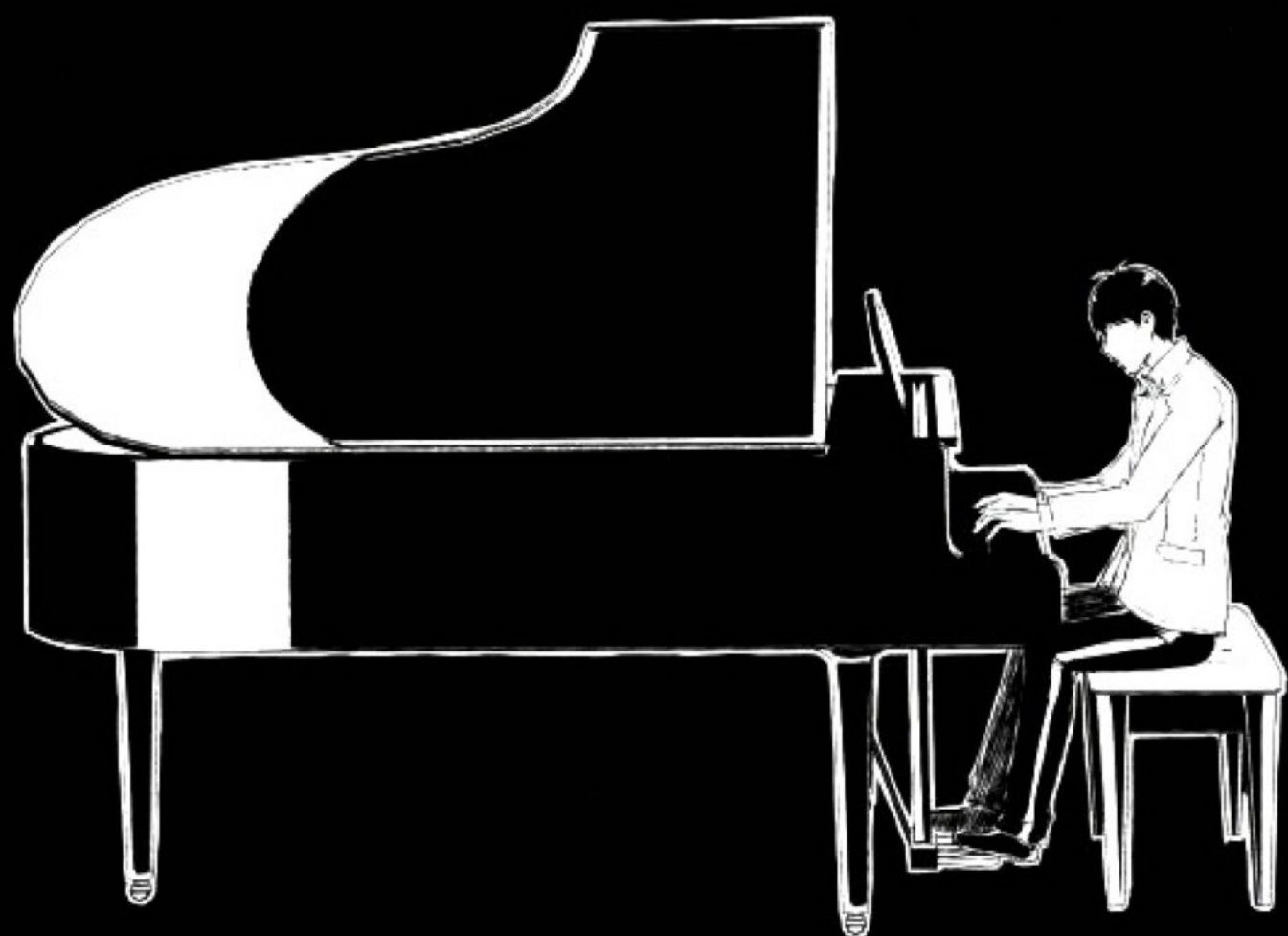
「また一緒に
遊ぼう翼」

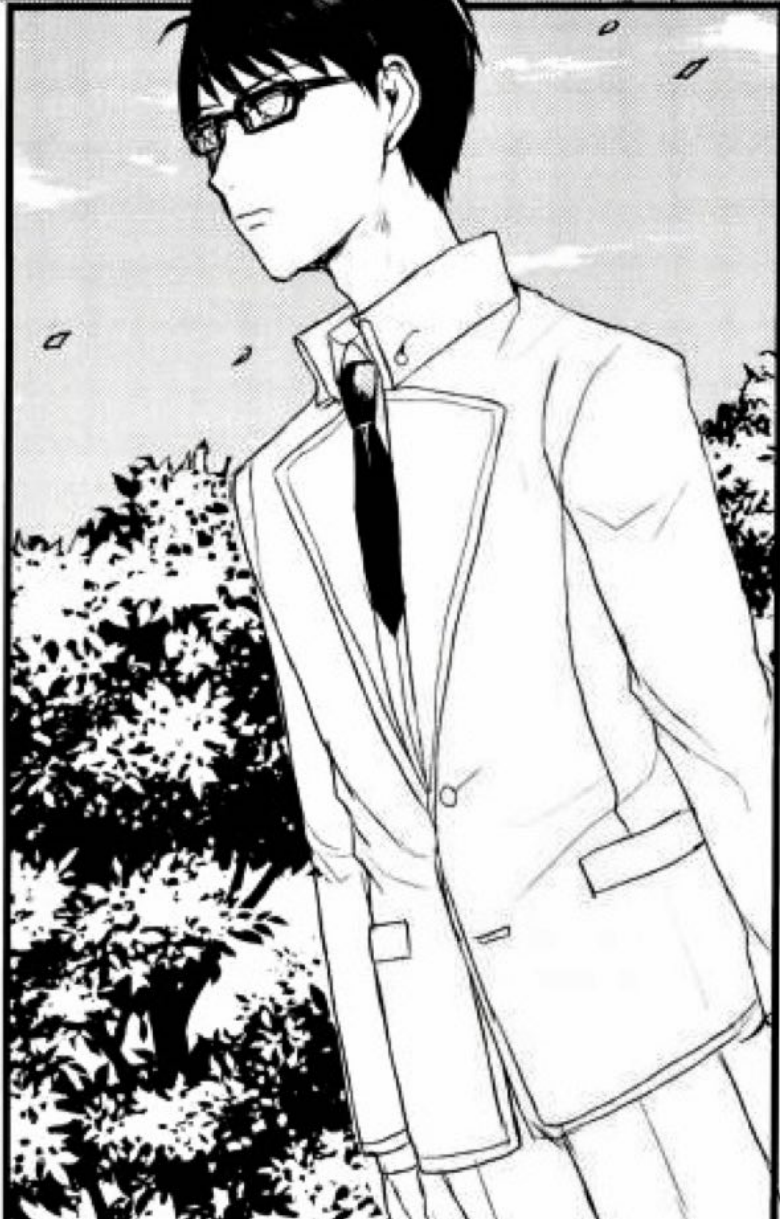
それは…



それはいつ……？

気づいたら僕は
15歳になっていた



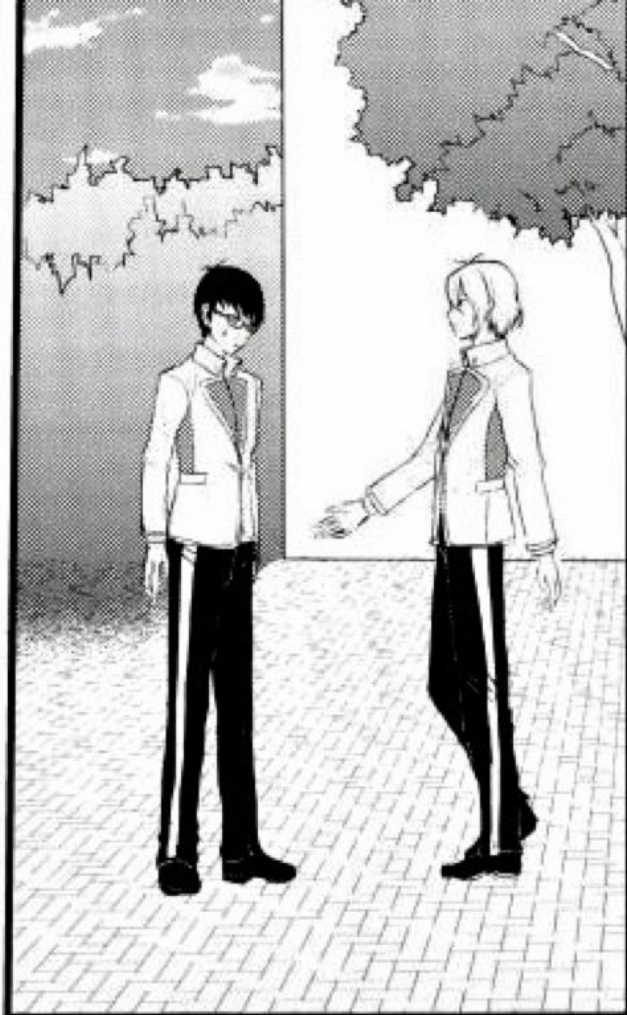




久しぶり翼



あれから
元気にしたた？



樹兄さんに久しぶりに
会えたというのに僕は
感情を嬉しいという気持ちで
満たすことはできなかつた

僕は樹兄さんの
手を取ることが
できなかつた





柁…
だめだよ

どうして
こんなこと…



風…



「だめ」?

何がだめなんだ?
僕と君が兄弟だから?
男同士だから?

いいんだよ

男同士だって
何も悪いことない

それに



キスも

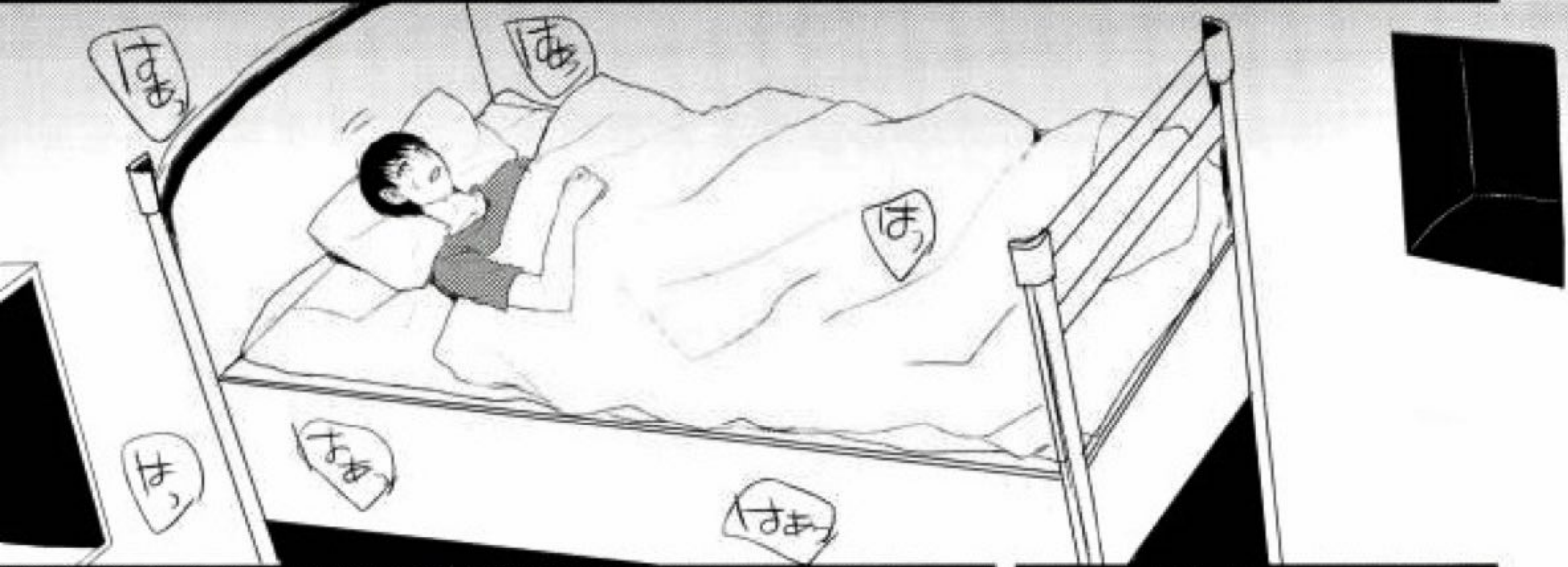
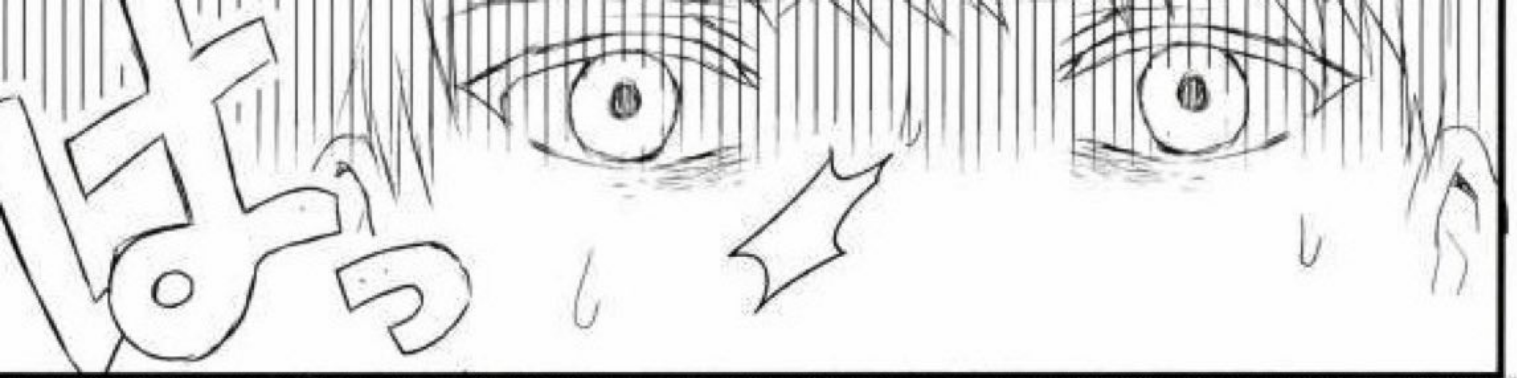
セックスも

もう僕たちは
兄弟じゃ
ないんだから



何をしたって…

ぬるっ



樹兄さんとの再会は
僕に悪夢を見せた

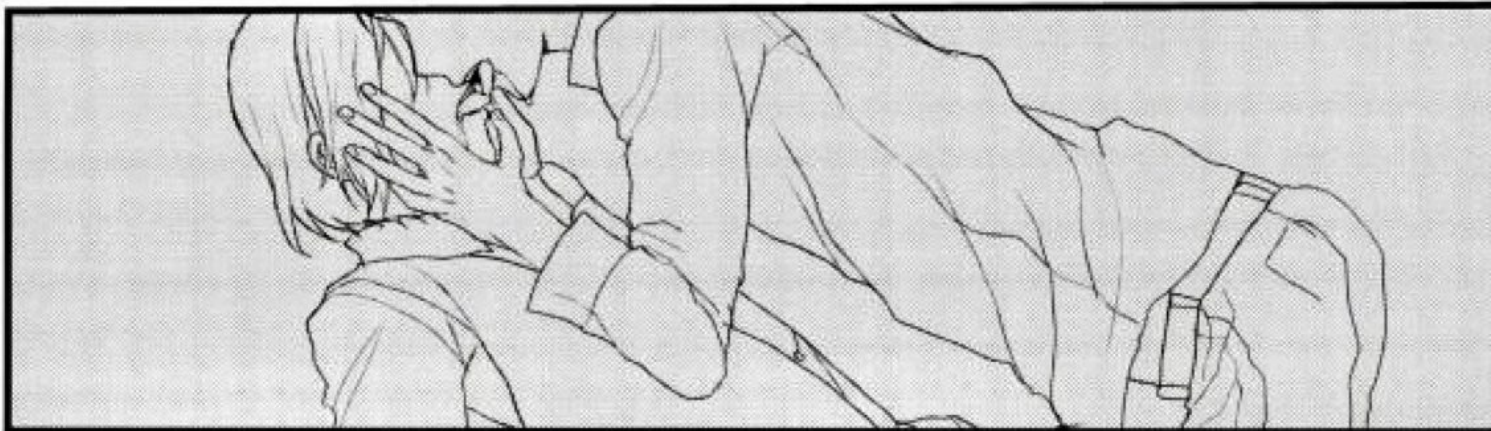
毎日毎日
樹兄さんとセックスをする
そんな夢ばかり

柊家での忌まわしい日々は
今も色濃く残っているらしい

僕が望んだのは
そんなことじゃ…

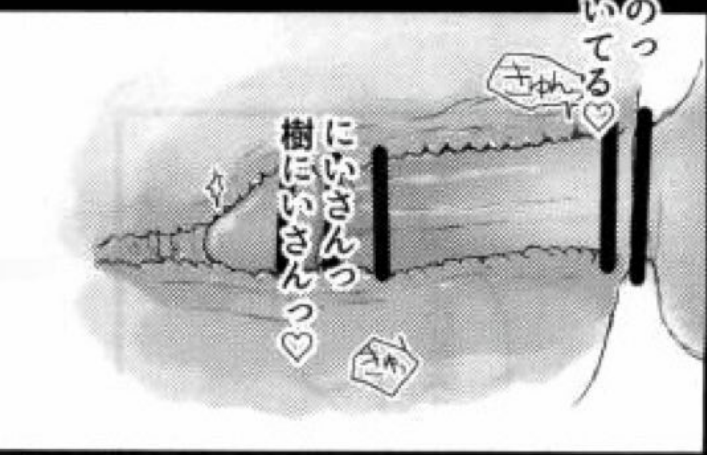


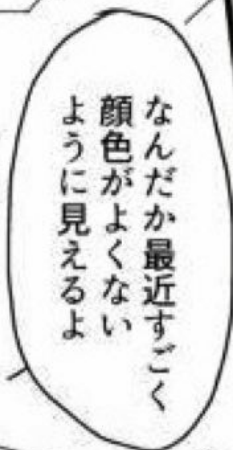




僕は樹兄さんとまた
昔のような毎日を
過ごしたいだけなのに
それすら無理なのだろうか

あっ







大丈夫です
君の気のせいですよ

実の兄とセックスする夢を
毎晩見るから眠れなくて…
なんて口が裂けても言えない…



悩みごとがあるなら
僕に相談してくれ

終くん

おんが

君の力に
なりたいんだ

困ったことがあるなら
いつでも頼ってほしい

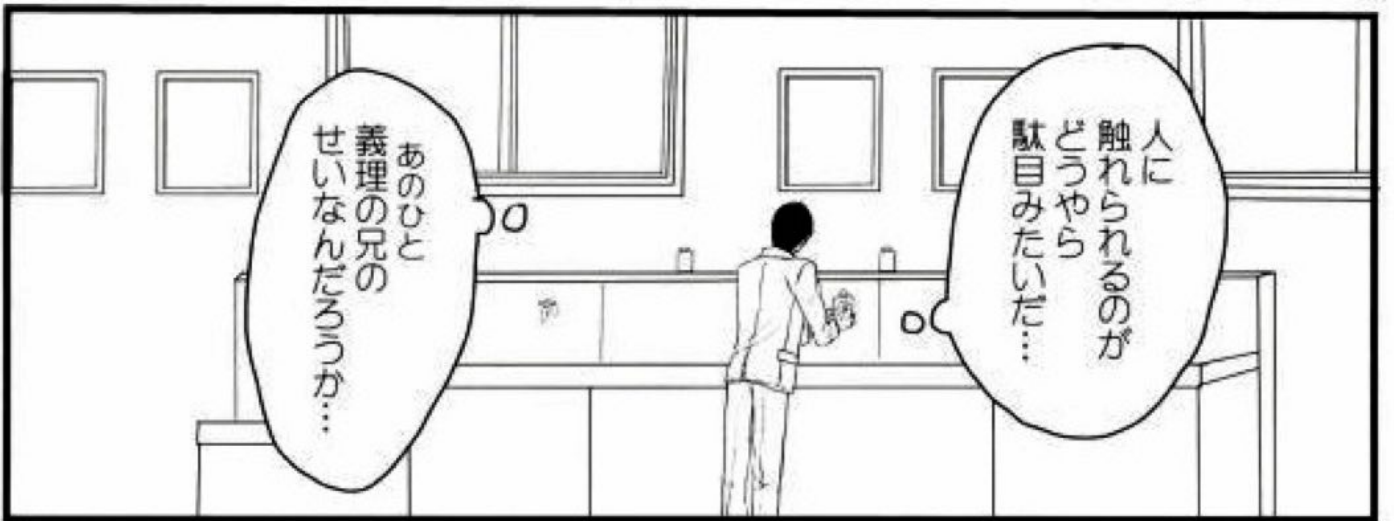


おんが

え、ええ…

本当に大丈夫ですよ
心配かけてすみません

はっ



あのひと
義理の兄の
せいなんだらうか…

人に
触れられるのが
どうやら
駄目みたいだ…

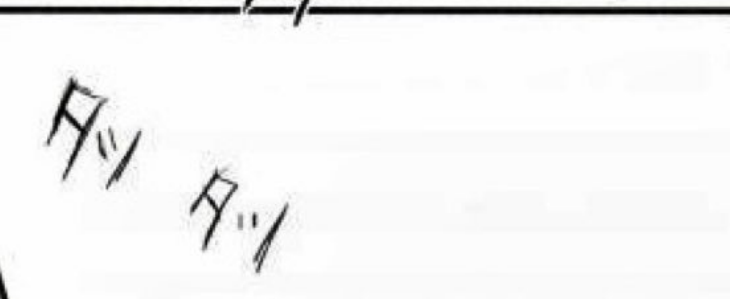
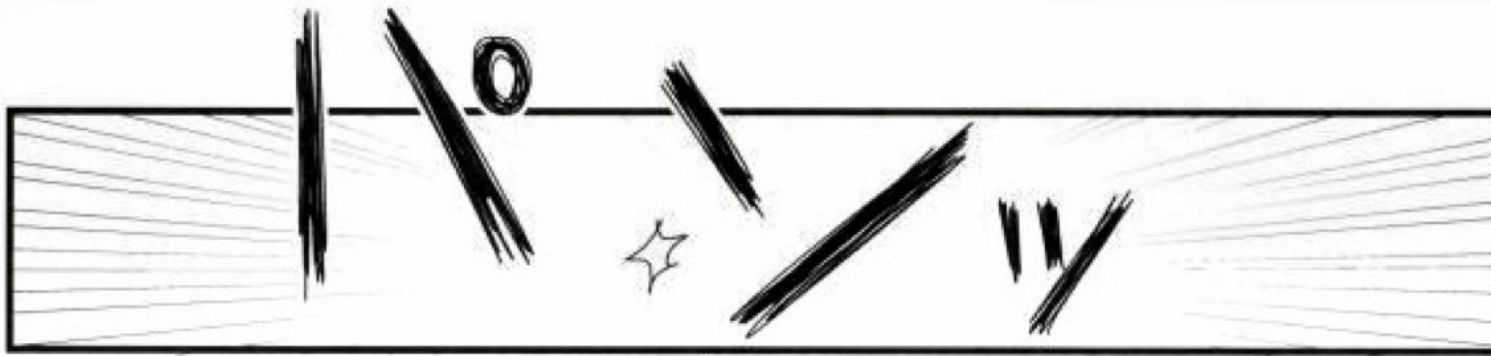


終



ひい顔だ





兄さんに
触れた部分が
熱くてジンジンとする



他の人に触れた時のような
冷たいものが背筋を
走っていく感覚がない

何か違う…

また別の…



樹兄さんに
触れたときだけ…

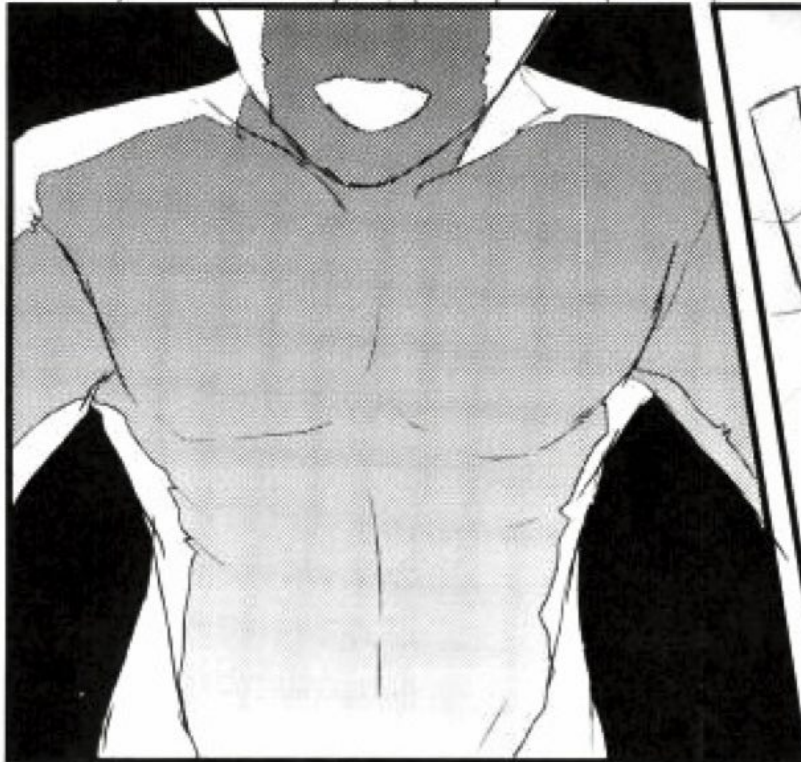
翼





樹兄さんとまたこうやって
昔みたいに仲良くできるなんて

樹兄さん…
嬉しい…夢みたいだ





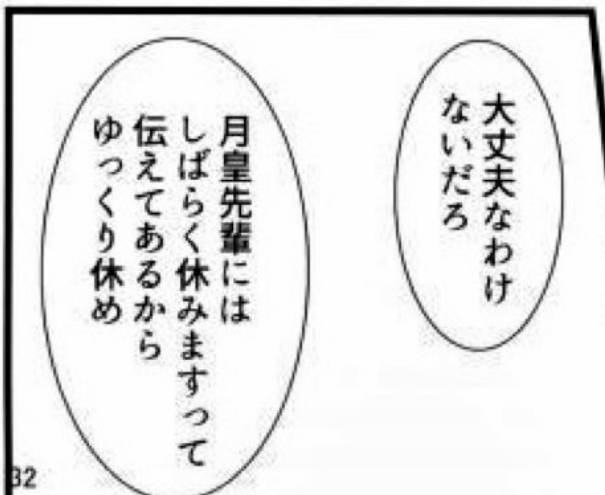
違う！

樹兄さんと
こんなことが
したいんじゃない！

ぼくはまた
樹兄さんと
昔みたいにつて…

それだけなの…

それだけなの







一人で抱えこむなよ心配だ
お前はチームメイトである前に
たった一人の大事な弟なんだ

どうしたんだ翼？

それ以上触らないで
もっと触って

翼…？

僕に近づかないで

一緒にいたい

ちめて

もっと
もっと…





僕はきみと
セックスがしたい



また一緒に遊ぼう
なんて僕にはそんなこと
どうでもいい

僕はきみと…鳳と…
セックスがしたくて
したくて頭がおかしく
なりそうだった
毎晩夢に見るくらいに



これは夢だ

鳳の夢



な…なに言ってるんだ
翼…?



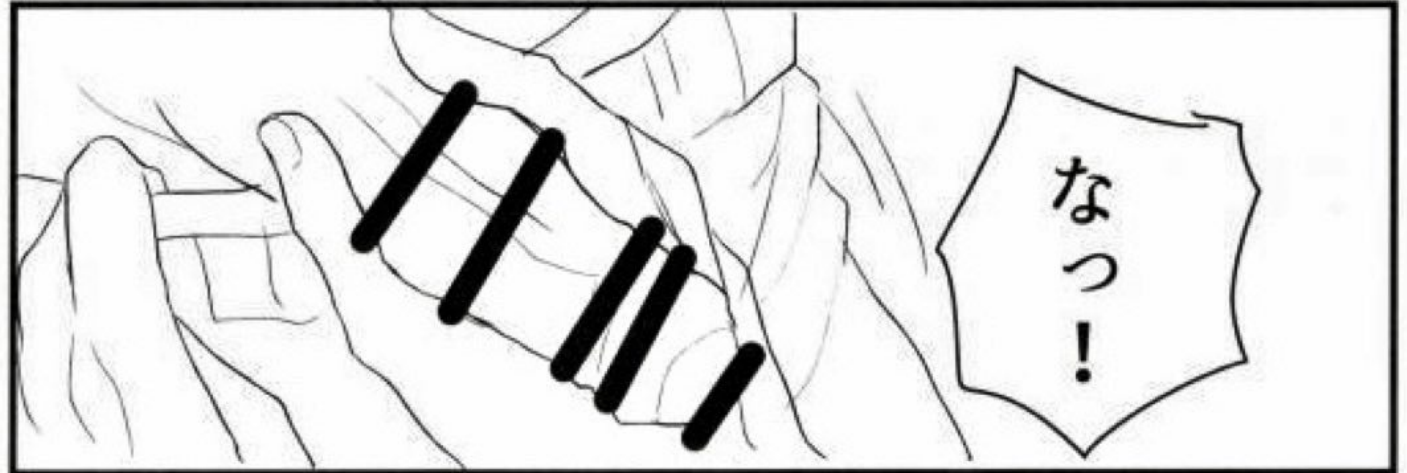
なに……？
どうする気
なんだ……？
翼……？



えっ……？



すま、



なっ！



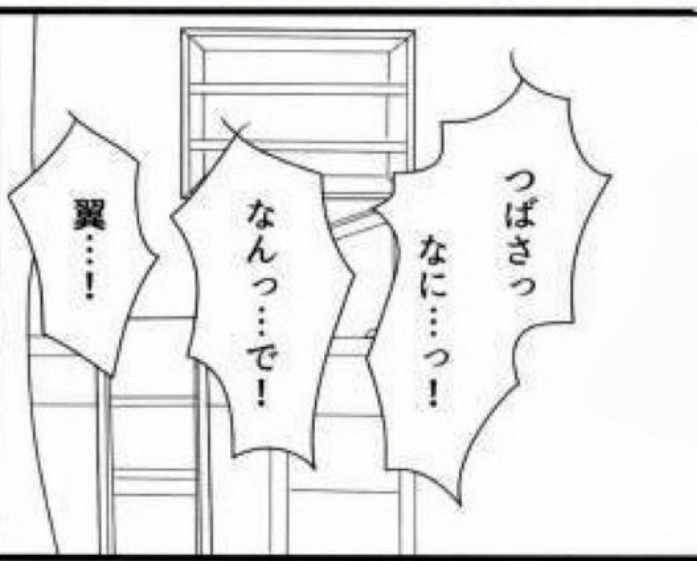
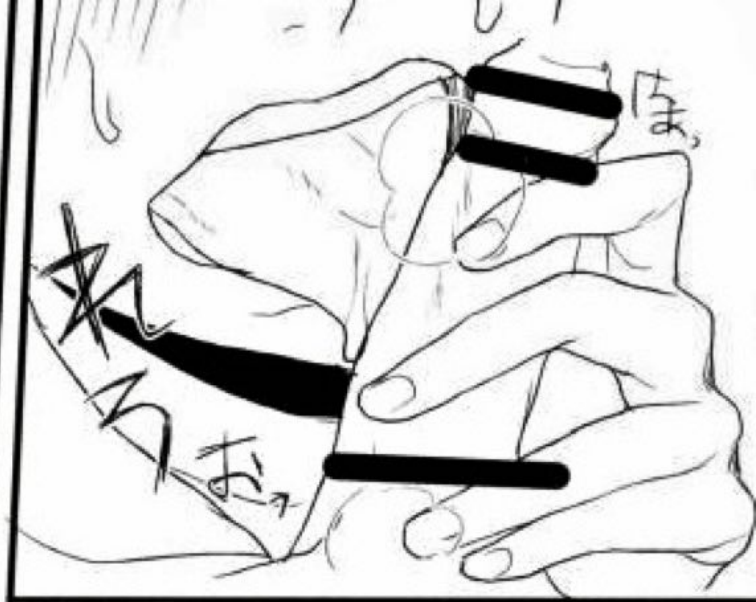
僕は君が知らないことを
たくさん知ってるよ

すま

あ



なっ
にっ
なんっで









僕たちはもう
兄弟じゃないよ

そうだろう

鳳



君は知らない
杖で手を叩かれる痛みを
豪勢なのにちつとも
美味しくない食事を
義理の兄に毎晩
レイブされる恐怖を

だから君は能天気生きていられる
僕とまた一緒に遊ぼうなんて
言っている

僕はもうだっぺいいんだ
君とまた遊べるなんて
そんなこと

僕はただお爺様の望む通りに
柊家の言う通りに決められた
縛られた世界で生きていければ
それでいい

本当は
こんなことが
言いたい
わけじゃ
ないのに



もう僕たちは
あの頃になんて
戻れないんだよ

僕が君の手を握らなかつた
あの日から



君は鳳樹で

僕は柊翼だから

兄さんの
「また一緒に遊ぼう」
たったひとつの
その言葉だけを
救いに生きてきた
でもそれは叶わなかつた
気づいてしまったんだ
叶わない希望は
ただの絶望でしかない
もうその言葉はただの
呪いでしかなくなってしまった

本当は本当は：

僕だって樹兄さんと

また一緒に遊びたい

昔みたいに一緒に踊って歌って

綾薙学園の伝統と誇りだとかお爺様の望む通りにだとか

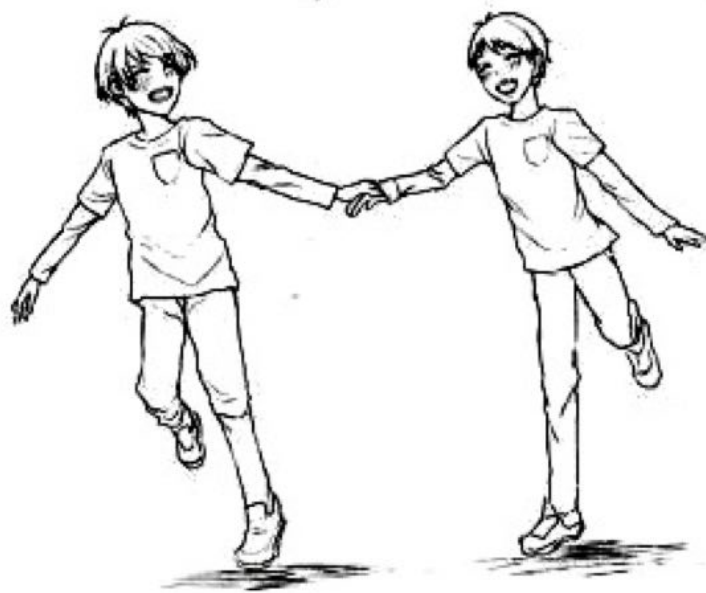
そんなもの全部捨て去って「鳳翼」に戻って

樹兄さんと手を取り合って笑いたい

でもダメなんだ僕が「柊翼」でいる限りそれは無理なんだ



僕はもう風真じゃない



STAR-MU (OTORI×HIRAGI) FANBOOK

20160313 HM(MOGERI)